

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

# 六字城

ROKUJIJO

2019/4/1  
No.654

大阪市北区東天満 1-8-26

06-6351-3535

<http://www.tenma-betsuin.jp>

代表者 輪番・武宮 信勝



新年度（2019年）を迎えて

別院だより『六字城』リニューアルにあたって

撮影者 矢裂隆司（墓地にて）

天満別院輪番 武宮 信勝

別院墓地の紅梅にメジロが遊びに来て、可愛らしい鳴き声をかんで、春のおとずれを告げてくれています。私も、職員の皆さん、ご門徒の皆さまにお育てをいただきやと1年の歳月が経ちました。就任して2年目を迎えるにあたり、天満別院が今何を大切にしなければならぬのかを2点述べさせていただきます。

1つは別院だより『六字城』改版です。

現行の『六字城』は第1号発行から実に55年の永きに亘り、皆さまに導かれつつ、毎月欠くことなく発信してきました。ただ、現代において活字が小さく、読みづらいという声を聞くことが多くなってきたことから、別院の教化委員会広報部会の皆さまにご相談いたしました。その結果、思い切って紙面を大きくし、毎号カラーにすることで写真も鮮明になり、内容もご門徒の立場に寄り添い、真宗の生活上、身近な課題を広く取り上げることになりました。

「何を書いてあるのか、読んでみたいなあ」という心をかき立てるような『六字城』にしたことです。さらに皆さまのご意見、ご要望を大切に聞き取って、新たな歩みを始めたいと思います。

【次ページに続きます】

2つには今年度の重点教化方針です。

※誰もが身近に感じる別院の創生くちよつと聞いてこ、お寺で話そうの展開。

①『正信偈』同朋唱和への取り組み  
・月忌、年忌法要ごとに『正信偈』を一緒に唱和しましょう。

・『正信偈』のおつとめに馴染むためのわかりやすい解説を別院で年数回開催。

②別院での報恩講、法要、定例法話、同朋の会への参加奨励。

・『六字城』、ポスター、チラシ、月忌参りでの呼びかけ。

③音楽になじもう

・別院合唱団「みのり」を発足し月一回の寄り合いで、仏教讃歌、童謡、唱歌に触れ、音楽を通して人と人との交流を深めつつ、別院に親しみを感じてもらおう。

④別院の子ども会を発足します。

・大きな別院をフルに使って、学習や童話、ゲームを通して大きくなっても忘れられない思い出を作りたい。来年には「花まつり」の復活ができれば……

### Q&A

## どうしてお香を焚くのか？

第1回

どうしてお香を焚くのか？

なぜお線香を立てずに寝かせるのか？



### 答え

そもそも、お香を焚くには、土香炉(焼き物の香炉)でお香を盛つてその上に「附茸」という太い線香のような物に火を着け、燃じたことに由来したものです。よって真宗では、お線香を立てる作法はありません。常は直接、灰の上に来るの代わりとしてお線香のみを土香炉の大きさに合わせ、折り寝かせて燃じます。このことを「燃香」と言います。

に火をつけて、その上にお香を2回焼べて焚きます。お香やお線香を焚くことによつて、その場を浄化するという意味があります。大切な方を亡くされ、枕元で「不断香」と言つて絶えずお香を燃やす事によつて、ご遺体の異臭を包み消します。又、お焼香は亡き人の為で無く、自分自身の体臭や人間としての「汚れ」や「煩惱」を包み込む働きがあります。香のかおりには、仏様のお徳を表すものとして尊ばれて来たのです。

(教化委員会法要部会・山内)

### 報告

## 天満別院の歴史を学ぶ

天満別院では去る3月7日(木)16時より教化委員会青年部会主催による崇敬寺院を対象にした「天満別院の歴史と崇敬寺院について」の講習会を御講師に本山宗務所本廟部部长 近松 誉 師にお越しいただき、開講いたしました。

昨年4月に青年部会が発足し、今回の講習会が初めての活動で、どなたの方が集まってくださるのか不安もありましたが、多くの方々にご参加いただきました。これを励みに今後とも青年部会では様々な取り組みを考えて参ります。





### 久しぶりの座談会

天満別院では、去る3月10日、14時より同朋の会が開催されました。御講師には、大阪教区第7組 教應寺住職 建部智宏師と長教寺住職 稲垣洋信師にお越しいただきました。

この日は「医者から脳血栓になりやすいと注意された方が、どうしたら安楽に死ねるのか」という質問をテーマに皆思い思いの言葉を交わされ座談会は進行されました。

なお今月の同朋の会は4月14日(日) 14時に開催されます。御講師には建部智宏師にお越しいただき、今年度のテーマ「ことばに遇う」を通してお話をいただきます。皆様是非ご参拝ください。

### 植樹式を行いました

天満別院では昨年の報恩講、門首後継者 能慈院殿 大谷 暢裕 御夫妻の御参修を記念して「イロハモミジ」が境内に植樹されました。



その植樹式が同朋の会と同日に執り行われ、御輪番、宇野門徒会会長、幸田婦人部部長の3人が代表して土かけをされました。

今はあまり元気がない大きな銀杏の樹ですが、それに並ぶ別院の新たなシンボルツリーとして、皆様をお待ちしておりますので、参

られた際にはぜひ御参修記念樹も見ていただけたらと思います。

### 彼岸会勤修のご報告

去る3月24日、春季彼岸会並総永代経法要兼墓地納骨(物故者)追弔法要を勤修いたしました。

法要後には大阪教区第13組 心願寺住職 松井 聰師のご法話がありました。

講題「人は何故南無阿弥陀仏で救われるのか」についてお話いただき、わかりやすい言葉や例えを出され、聞きやすかったと皆さん(約60名)が喜んでくださいました。

先生は人は何故苦しむのかということに対して、様々な煩惱(欲)をかかえて生きることの原因があると述べられました。

「助かる・救われる」と言っても、どこどこまでも自分にとって、都合よく事が運んだ時にしか言っていないのではないか。

そして仏教「真宗」では人は亡くなれば「諸仏」となり、お浄土に還られ、時には観音さま・勢至

さまとなって、私のところに「どうか、仏法に出会って、お念仏申される身になってください」とはたらきかけてくださっています。

大事なことは、亡き人を諸仏さまとして拝めるか拝めないかではないかと思う。親鸞聖人は「生きるということとは自分の思い通りにならないことに気づかずして、思い通りにしようとするから苦しむことになる」と、我が身を歎き悲しんでくださる仏さま(阿弥陀仏)に出遇われ、お念仏を称えることのみが、偽物を明らかにし、真実に抱きかかえられて、空過しない、救われていく人生だと証明されました。先生は「私たちも皆さんと共に(御同朋)生きてよし、死しても悔いなしという私にさせてもらいましょう」と語ってくださいました。



## 法要・行事予定

### 4月

- 12日・一如上人御祥月御命日（午前8時）  
・闍如上人御祥月御逮夜・常永代経（午後2時）
- 13日・闍如上人御祥月御命日（午前8時）
- 14日・琢如上人御祥月御命日（午前8時）  
・同朋の会例会（午後2時）  
建部智宏師（第13組教應寺住職）
- 20日・天満別院合唱団『みのり』（午後2時）  
村上奈津子師（第13組超願寺住職）
- 24日・綽如上人御祥月御命日（午前8時）  
・正信偈書写の会（午前10時）  
・定例法話（午後1時30分）  
多田孝圓師（第7組圓乗寺住職）  
「いのちの願いに生きる」
- 27日・宗祖聖人御逮夜（午後2時）
- 28日・宗祖聖人御命日（午前8時）

### 5月

- 12日・闍如上人御逮夜・常永代経  
・同朋の会例会（午後2時）  
稲垣洋信師（第7組長教寺住職）
- 13日・闍如上人御命日（午前8時）
- 18日・天満別院合唱団『みのり』（午後2時）  
村上奈津子師（第13組超願寺住職）
- 22日・常如上人御祥月御命日（午前8時）
- 24日・正信偈書写の会（午前10時）  
・定例法話（午後1時30分）  
田中寛子師（第13組願乗寺衆徒）
- 27日・宗祖聖人御逮夜（午後2時）
- 28日・宗祖聖人御命日（午前8時）

### ◆同朋大会開催のお知らせ・ご案内

左記の通り第45回大阪教区同朋大会が開催されます。ご参加希望の方は4月25日迄に別院寺務所までご連絡ください。

記

テーマ 集おう いのちのサンガ

日時 5月11日（土）午前10時～12時30分

講師 真城義麿氏（四国教区善照寺住職）

元大谷中・高等学校校長

会場 難波別院 本堂

参加費 お一人様 1000円

### 天満別院 今月の伝道掲示板

思考に気をつけなさい  
それはいつか言葉になるから  
言葉に気をつけなさい  
それはいつか行動になるから  
行動に気をつけなさい  
それはいつか習慣になるから  
習慣に気をつけなさい  
それはいつか性格になるから  
性格に気をつけなさい  
それはいつか運命になるから  
――マザーテレサ

### 編集後記

自分で気づかないことが多くあります。お経でも正しくお勤めしているつもりでも、指摘されて初めて誤りに気づくことがあります。これは大事なことです。『六字城』においても、今号から刷新し、良くなったと思っただけでも、こうした方がいいという意見・感想があるはず。是非教えてください。H

本山（東本願寺）御用達 <b>（株）平安法衣舎</b> 〒600-8153 京都市下京区東町本願寺大門前 電話 (075)-351-3681 FAX (075)-351-5563	 <b>株式会社 太田石材店</b> 本社 〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号 TEL(06)6930-5075 FAX(06)6930-5078 工場 〒536-0017 大阪市城東区新富多美1丁目8番2号 TEL(06)6968-8111 FAX(06)6968-8805 <a href="http://www.otasekizaiten.co.jp/">http://www.otasekizaiten.co.jp/</a>
--	--